

議会だより とくのしま



第 189 号

平成 29 年 11 月 1 日

発行：徳之島町議会 編集：議会広報編集委員会 〒 891-7192 鹿児島県大島郡徳之島町亀津 7203
TEL 0997 (82) 11111 FAX 0997 (82) 1101



9月定例会の現地調査（白久団地）

第3回定例会

9月5日～14日

- ☆ 審議された案件と議決結果、議会の動き
- ☆ 一般質問（6氏登壇）
- ☆ 研修レポート・編集後記

6

7

12～14

9 月定例会で審議された案件と議決結果

案 件	議決結果
<p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・徳之島町農業委員会の選挙による委員定数条例の全部を改正する条例 ・徳之島町報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例 ・字の区域変更 ・平成 29 年度一般会計補正予算 (第 2 号) ・平成 29 年度簡易水道事業特別会計補正予算 (第 1 号) ・平成 29 年度国民健康保険事業特別会計補正予算 (第 2 号) ・平成 29 年度農業集落排水事業特別会計補正予算 (第 2 号) ・平成 29 年度介護保険事業特別会計補正予算 (第 2 号) ・平成 29 年度公共下水道事業特別会計補正予算 (第 2 号) ・平成 29 年度後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 1 号) ・平成 29 年度水道事業会計補正予算 (第 2 号) ・平成 28 年度一般会計歳入歳出決算の認定 ・平成 28 年度簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定 ・平成 28 年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定 ・平成 28 年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定 ・平成 28 年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定 ・平成 28 年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定 ・平成 28 年度地域包括支援センター事業特別会計歳入歳出決算の認定 ・平成 28 年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定 ・平成 28 年度水道事業会計歳入歳出決算の認定 <p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度健全化判断比率について ・平成 28 年度資金不足比率について <p>(陳情)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「協同労働の協同組合法 (仮称)」の速やかな制定を求める意見書に関する陳情書 <p>(発議)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「協同労働の協同組合法 (仮称)」の速やかな制定を求める意見書 	<p>原 案 可 決</p> <p>原 案 可 決</p> <p>可 決</p> <p>原 案 可 決</p> <p>原 案 可 決</p> <p>原 案 可 決</p> <p>原 案 可 決</p> <p>原 案 可 決</p> <p>原 案 可 決</p> <p>原 案 可 決</p> <p>原 案 可 決</p> <p>認 定</p> <p>認 定</p> <p>認 定</p> <p>認 定</p> <p>認 定</p> <p>認 定</p> <p>認 定</p> <p>認 定</p> <p>認 定</p> <p>採 択</p> <p>原 案 可 決</p>



3 日 (鹿兒島市)	8 月 市町村政研修会	31 日 (奄美市)	27 日	24 日	20 日	19 日	12 日	10 日	4 日	7 月	29 日	6 月
		価格対策協議会総会	奄美群島さとうきび夏植推進出発式	の振興を考える講演会 (天城町)	全島一斉清掃会実行委員会	三力町議会議員連絡協議会役員会	世界自然遺産登録に向けた打ち合わせ (商工会)	第 3 回議会だより編集委員会	正副議長研修会 (鹿兒島市)		第 2 回議会だより編集委員会	
		第 1 回議会だより編集委員会	町内各小学校体育大会訪問	町内各中学校体育大会	ゆめ・ときめき徳之島町ねりんスポーツ大会	第 3 回定例会開会	女性連大会	推進協議会 (和泊町)	奄美・やんばる交流	議会広報研修会	熊本県人吉市議会議員行政視察	公明党奄美ティダ委員会 (鹿兒島市)
						第 3 回定例会閉会	第 3 回定例会 (第 3 回定例会)					燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会実行委員会
												8 日

いっばん質問

9月定例会には、6人の議員が登壇し、世界自然遺産登録にむけて、道路整備、地域防災、子育て支援、農業振興など町政全般にわたり執行部の考えをただしました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。

世界自然遺産の課題は



是枝 孝太郎 議員

環境省と

三町で対応

問 世界自然遺産登録に向けて取り組みは毎日実施しているが、どの点を重点的に行っていくのか伺う。また、野猫、野良猫の避妊処置と飼育、施設等の補助金についてと救急に対応できる普通救命講習について伺う。

答 政田住民生活課長 野猫は、環境省が捕獲、不妊処置を行い、施設へ収容。野良猫は、三町ネコ対策協議会で※TNR事業を行い、不妊手術費は、奄振事業の補助金。施設の管理等は、徳之島三町の負担金で運営を行っている。

次の項目等を

重点に

答

住田企画課長

1.希少種の保護・増殖。2.外来種による影響の排除・低減。3.緩衝地帯や周辺地域における産業との調和。4.適正利用とエコツーリズム。5.地域社会の参加・協働による保全管理等が重点的に取り組むべき項目である。

※TNR事業とは、猫を捕獲して、不妊去勢手術後耳先をカットし元の場所にもどす事業でトラップ(捕獲)ニューター(不妊去勢手術)リターン(元の場所にもどす)の頭文字からなる。

消防組合と

連携して実施

芝健康増進課長

答

普通救命講習は、基本講習・心臓マッサージ・人工呼吸・AEDの電気ショックの仕方及び応急手当などがある。その講習時間は3時間なので、消防組合と連携して、多くの町民が受講できるよう広報していく。

ライフラインの整備を

問

徳之島町の各地域において公道が狭く、救急車両の通行に支障をきたすところもあり、民家に極力近い公道は整備が必要。護岸に隣接する集落も多く、ライフラインとなっており、緊急車両の通行が必要な地域もある。通行許可と整備はできないか伺う。

下久志集落道

緊急時対応

福耕地課長

答

集落道の狭小問題による緊急車両通行支障の対応策として、集落より井之川側の海岸護岸と県道の間を県と協議を行い緊急用道を兼ねた整備を行うことにより、集落の緊急車両通行時の不安解消を図る。

町単位で

全面的協力

亀澤建設課長

答

下久志集落内は、護岸管理用道路(県管理)を重要なライフラインとして利用している。県に対して道路事情を理解してもらい、道路利用のため雑草除去等町単位で可能なことは全面的に協力していきたい。



下久志集落に通じる公道

買物・食事等

カード決済を

宮之原 順子 議員



問 徳之島でも、大手や特定の事業所はカード決済ができてきているようですが世界自然遺産登録に向けて、観光客の増加を見据え小さな事業規模の店舗でも買物・食事等の支払いにカード決済ができる環境作りはできないか。

答 経営者ではカード決済については手数料等が負担となり継続が困難になることが危惧される。補助事業でもカード決済端末本体について個人負担があり今後、支援希望の事業者があれば県や商工会と協議して進めて行きたい。

庁舎にエレベーター設置を

問 高齢者や障がい者の方が気軽に来庁できるようにエレベーターを設置できないか。会議室も、3、4階にあり、大変である。設置が無理なら、プレハブ

答 岡元総務課長
エレベーターについては、平成32年度に庁舎の耐震化と津波に対応できる庁舎として現在地に建て替える予定なので新庁舎で対応したい。プレハブの会議室は、設置の可否を速やかに検討する。避難階段の手すりは、設置における建築基準法上の幅員制限について確認したい。

LGBTの認識と理解を

問 ※LGBTの方々への理解を進めるためにも、私たち一人一人が認識していくことが大事、教育や啓発活動を積極的に進めることは、一人でも多くの町民に認識と理解を広めることになる。本町の現状と教育現場の対応は。

答 芝健康増進課長
性的マイノリティ(性的少数派)の方については、認識不足であり、本町に於いても社会福祉協議会・住

答 向井学校教育課長
人権についての研修は、各学校で県の資料を基に学活の時間を利用して行っている。また、学校の申請に基づいて、人権擁護委員に依頼して行ってもいい。今後は、このLGBTについても研修を行ってほしい。

答 芝健康増進課長
性的マイノリティ(性的少数派)の方については、認識不足であり、本町に於いても社会福祉協議会・住



緊急車両の通行が困難なカーブ

急げ防災道路、防火水槽

勇元 勝雄 議員



問 下久志地区は県道以外に消防車等、大きな車を通れる道路がない。

答 地域住民の方々と、役場担当者で見た道路の状況を、どのように対策をするのか。又防火水槽が県道沿いに二ヶ所あるが、海岸沿いに新たな防火水槽の設置はできないか。



便利なカード決済

答 幸田地域営業課長
小規模経営者や個人

答 高年齢者や障がい者の方が気軽に来庁できるようにエレベーターを設置できないか。会議室も、3、4階にあり、大変である。設置が無理なら、プレハブ

で会議室を作れないか、又山側と海側の外階段に手すりはつけられないか。

新庁舎建設時に

対応

答 岡元総務課長
エレベーターについては、平成32年度に庁舎の耐震化と津波に対応できる庁舎として現在地に建て替える予定なので新庁舎で対応したい。プレハブの会議室は、設置の可否を速やかに検討する。避難階段の手すりは、設置における建築基準法上の幅員制限について確認したい。

広報の検討を

答 芝健康増進課長
性的マイノリティ(性的少数派)の方については、認識不足であり、本町に於いても社会福祉協議会・住

研修を行っていききたい

答 向井学校教育課長
人権についての研修は、各学校で県の資料を基に学活の時間を利用して行っている。また、学校の申請に基づいて、人権擁護委員に依頼して行ってもいい。今後は、このLGBTについても研修を行ってほしい。

通行緩和を検討

答 亀澤建設課長
以前より下久志集落から要望があった、護岸管理用道路（県管理）鋭角のカーブ箇所は、隣接空地部分を整備し通行緩和を。次に、生活道路拡張は、敷地無償提供、寄付採納願い及び分筆登記後に施工を考慮する。

消火栓で対応

答 岡元総務課長
現在新たな防火水槽の設置は考えていない。消火栓も7か所に設置しており、防火水槽と合わせて集落をカバーできるものと考えている。消防団から要望等があれば、協議の上消火栓を増設する方向で考えている。

火葬場への道路改良を

問 過去に何回も質問をしたが、予算がない、過疎計画にのせていない、他の事業と比べたら

優先順位が低いので道路改良ができないと言う答弁をもらったが、その後の進捗状況はどのようになっているか伺う。

平成31年度

工事实施予定

答 亀澤建設課長
社会資本整備交付金で平成31年度から整備できるように概算要望中である。今後の計画としては、平成30年度、設計業務委託予定。平成31年度、工事实施予定となっている。

子育て支援、 県下最低か

問 県下のほとんどの市町村が乳幼児医療費を無償にしているが、町長、副町長、関係課長は、徳之島町が無償にしない事をどのように考えているか。天城町、伊仙町へ、若者が子育て支援の違いによって転出している事は無いのか伺う。

社会的弱者について は対策している

答 高岡町長
医療費については、生活保護世帯、非課税世帯に助成をし、社会的弱者についても対策している。日本の医療制度は、世界的に見て優れた制度である。無償化により医療費増大すると制度の維持が困難。今後、国の政策に合わせていきたい。

教育・保育所 支援に使うべき

答 幸野副町長
高額納税者も無償化になるのは疑問だ。それよりは子育て支援として教育（ICT・学土村塾・向学塾）の充実や保育所支援（待機児童の解消）に使うべきと考える。

国・県の方針に 基づいて

答 豊島介護福祉課長
国、県の方針に合わせ、国、県が無償化を打ち出した時に、本町も検討す

べきと考える。子育て支援の違いによる若者の、他町への転出は少ないものと思われる。

その他の質問

- 町道の改良について
- し尿処理場について
- 防災無線について
- みのり館について

定例会の様子をインターネットで ご覧いただけます

町のホームページから「議会中継」にアクセスしてください。
詳しくは議会事務局までお問い合わせください。
☎ 82-1111（内線331番）

受託作業の充実を

保岡 盛寿 議員



人材の育成・確保

答 東農林水産課長
現在、管理作業ごとの組織を検討しているが、新たに製糖期のオペレーター育成や人材確保等の問題も生じている。人材不足を補うためにも島外から繁忙期に雇用する形態も一つ

問 さとうきびの増産振興には、適期肥培管理が重要である。管理作業を受託する集団の育成が急務と思うが、見解を伺う。

の組織ではないかと考える。



今年も豊作が見込まれるさとうきび

受精卵移植で 生産者拡大を

問 本年度建設する受精卵移植施設の目的とメリットについて伺う。また、生産者の裾野を拡大する上でも無登録牛の活用も積極的に推進すべきと考えられているが、見解を伺う。

答 東農林水産課長
高い能力の受精卵を能力の低い牛に移植し、能力の高い牛の産子を多数生産することで雌雄同時に改良できる。生産された仔牛は、自家保留に大きく関わることができ頭数の確保・拡大に期待ができる。

北部地域 振興策は

問 アンケート調査の分析と今後の取り組みについて伺う。また、花徳町営住宅建設計画のタイムスケジュールについて伺う。

関係各課と 連携を進める

答 瀬川花徳支所長
北部住民アンケート調査結果では、「医療福祉施設の充実」、「町営住宅の建設」、「空き家の利活用の推進」が上位に上げられ今後の取り組みとしては、関係各課と連携を取りながら今後の事業計画に繋がっている。

平成30～31年度 建設予定

答 亀澤建設課長
今年度、「徳之島町公営住宅等長寿命画見直し」業務委託及び建設候補地の不動産鑑定評価業務委託、平成30年度用地取得・実施設計、平成30～31年度8世帯分の建設を予定している。

「ギンネム」

対策急げ

幸 千恵子 議員



問 景観に大きな影響を及ぼす「ギンネム」が県道沿い中心に大繁殖している。拡大防止の特別対策が必要と考えるがどうか。自発的に美化活動を行っている住民もいるが、町全体で美化活動を進め、集落・花壇・海岸線等のコンクールを実施してはどうか。

答 住田企画課長
鹿兒島県地域振興推進事業により、地域の景観形成につながる美化活動や植栽活動等を行う団体に対し補助を実施している。

集落単位で 美化活動を

答 政田住民生活課長
全集落を対象に、集落民一体となってボランティア清掃に参加できる集落を募集し、このような活動をおして、景観の保護や自然遺産登録に向け、啓発、意識の向上に繋がってきたい。

奄美群島全体の 課題

答 幸田地域営業課長
ギンネムに関しては、本町だけの問題ではなく奄美群島全体の課題だと考えられ、今後は県、国を交えて問題解決について知恵を出しあい対策を講じなければならぬと考える。

殺処分ゼロの島 実践

問 貴重な希少種を守ることは大事だが、引換にしている命はない。猫が観光に役立っている例は世界中にたくさんある。「人と動物が共生する島」をアピールできるよう完備した収容施設を設置して殺処分ゼロを実施してはどうか。

答 政田住民生活課長
猫を飼養している方が放し飼いなどしないよう、適正な飼養を行う事によって野良猫も減少していくと思われるので、施設設置については現在考えていないが、今後検討が必要になってくると考える。

猫の適正な飼養 をお願いしたい



猫は大事な家族

移住者受け入れ 施策は

問 「基幹的農業従事者」の年齢別人口は県内で75歳以上が32.7%だが、町内の状況は。「相続未登記」農地は県内農地の33%だが、町内の状況は。後継者対策として移住者受け入れ施策も必要では。新規就農者の状況は。

答 元山農業委員会事務局長 農地の相続未登記は、1061ヘクタール。農地の状況は、未登記農地の5.8%が遊休農地で、面積は約61ヘクタール、残り1千ヘクタールは個々の貸し借りでの耕作状況だと思われる。本町の未登記農地の割合は45%で、奄美群島の平均割合は47%となっている。

担い手部会を設置

答 東農林水産課長 年齢別人口は75歳以上が25%を占め、29年度は3名が新規就農している。新たに担い手部会が設置され後継者対策及び担い手の確保として、基礎的な技術・知識の習得を図るため農業基礎講座を開催。

未登記農地は

1061ヘクタール

答 元山農業委員会事務局長 農地の相続未登記は、1061ヘクタール。農地の状況は、未登記農地の5.8%が遊休農地で、面積は約61ヘクタール、残り1千ヘクタールは個々の貸し借りでの耕作状況だと思われる。本町の未登記農地の割合は45%で、奄美群島の平均割合は47%となっている。

その他の質問

○国保の県単位化について
○こどもの医療費について

議会に対する質問や意見、または議会だよりに対する意見や希望がございましたら、議会事務局までご連絡ください。

徳之島町議会事務局

☎ 82-11111 (内線331番)

ドローンの

有効活用

木原 良治 議員



問 世界自然遺産登録を見据えてドローンの観光への活用とは何か。又今後ドローンレース等への具体的な取り組みを伺う。

観光プロモーション活用

答 幸田地域営業課長 徳之島三町で、観光プロモーション映像作成業務を委託し、海、山などの自然の風景や、観光スポット、集落等を空撮し、プロモーションビデオの素材として使用している。また、町単独でドローンレースを企画している。

プロモーション映像作成業務を委託し、海、山などの自然の風景や、観光スポット、集落等を空撮し、プロモーションビデオの素材として使用している。また、町単独でドローンレースを企画している。



今後活躍が期待されるドローン

死亡者課税 取扱いが課題

秋丸収納対策課長

答 平成28年度の不納欠損額は、前年度と比較して処理件数が600件、金額は、680万円減少している。今後は、固定資産税等の死亡者課税取扱いが課題となっていく。

不納欠損処理

問 平成28年度決算における収納対策課の不納欠損処理の経過と課題を示せ。

平成28年度決算における収納対策課の不納欠損処理の経過と課題を示せ。

町有地の 有効活用

亀津海岸線沿いのグリーンベルト(東区・南区)の町有地の今後有効活用策としての財産処分の方を問う

問 亀津海岸線沿いのグリーンベルト(東区・南区)の町有地の今後有効活用策としての財産処分の方を問う

検討委員会に諮る

答 岡元総務課長 グリーンベルトについては、今後の近隣住民からの聞き取り調査や不動産鑑定の結果等を踏まえたうえで、町有地活用検討委員会に諮り、活用策を探っていく。また、財産処分の代金は、庁舎整備基金として積み上げたい。

グリーンベルトについては、今後の近隣住民からの聞き取り調査や不動産鑑定の結果等を踏まえたうえで、町有地活用検討委員会に諮り、活用策を探っていく。また、財産処分の代金は、庁舎整備基金として積み上げたい。



議員研修レポート

8月3日に市町村政研修会、23日に市町村議会広報研修会が鹿児島市で行われました。その内容を各委員がレポートします。

総務文教厚生委員長 木原 良治

「ブームをつくる 人がみずから動く仕組み」

講師 (株) TMオフィス 代表取締役 殿村 美樹 氏

1. 講師紹介

・殿村美樹

父は売れない画家だった。働く中でお金をかけないでPRする方法がある事を知り、父の絵を売る為に個人事務所TMオフィスを創業。

・理念

父のように、埋もれている地方の魅力を社会に発信する。

・一九九三年

佐世保市民に古くから親しまれていたハンバーガーを首都圏を中心としたマスコミに情報発信し続けて「佐世保バーガー」

として全国的地域ブランドに押し上げた。

・一九九五年

その年の世相を漢字一文字で表す「今年の漢字」をプロデュース。日本漢字能力検定協会とPR契約を結び「お金をかけないPR戦略」の基礎を築く。

・二〇〇七年

彦根城築城400年を記念したキャラクター「ひこにゃん」を全面に出す戦略を打って「ゆるキャラブーム」に繋げてゆく。

2. 講演要旨

①地域PRとブランド

地域の持つ強みをポトムアップで文化やブランドとして高める。トップダウンの起点は経営者が定める「経営理念」は、地域PRにはマッチしない。ブランドとは社会からの信頼であり、評価である。「知らない」は「存在しない」と同じである。

②今、伝わる情報とは、情を動かすストーリーが必要であり、10文字以内

にまとめる。長い説明や長文のパンフレットは逆効果になる。インパクト

の強いビジュアルが必要とされる。

③PRに3つのメディア

を連動させる。マスメディア(社会的評価)とソーシャルメディア(口コミ)と自社メディア(情報公開)に連動させる。

3. まとめ

表題を「島ブームをつくる。島人がみずから動く仕組み」と置き換えて考える。今、古くからある島の魅力(自然・食・島唄・島踊・闘牛)等を、世界自然遺産を見据えて、世界や全国に発信し続けるビックチャンスの時であり、島の魅力を文化やブランドに高めるためには、島人がみずから一歩踏み出す行動が求められている。

経済建設副委員長 徳田 進

「明治維新から百五十年、現在そして未来を考える」

講師 歴史家・作家 加来 耕三 氏

8月3日、鹿児島市民文化ホールにて研修会が行われた。

歴史家・作家である加来耕三氏を招いて「明治維新から一五〇年、現在そして未来を考える」を演題に講演していただいた。

しかし、講演の中では、明治維新の本当の始まりはペリー来航ではなくアヘン戦争であったと考え、清の国がなぜ敗れたか、そこに当時の幕藩体制(自分たちには関係ないという藩中心の考え方)と深く関係してくる。

一般的に知られる明治維新とは、徳川幕藩体制崩壊から明治新政府による中央集権的統一国家成立と、資本主義化の出発点となった一連の政治的・社会的変革をいう。始期・終期には諸説あるが、ペリー来航による開国から大政奉還・王政復古の大号令、戊辰戦争、

また倒幕のチャンスがうかがい、手を組んだ薩摩藩の西郷隆盛と長州藩の木戸孝允を引き合わせた、歴史的英雄「坂本竜馬」だが、加来氏の見解では、実は浮浪者であったということだ。

冒頭に、どうすれば歴史を具体的に仕事や日常生活に活用できるのか、との問いに歴史学が必要なのか?と疑問をおぼえたが、講演を聞きあ

り、戦争までをいうことが多い。

らためて、明治維新から一五〇年の歩みを考えた時、歴史学を学ぶことが現在につながる未来へと続いていく。最初をみれば最後がわかる。最後をみれば最初がわかる。まさに「歴史は繰り返される」と言っている。

感じた。
今回の研修で私たちは多くの事を学び、これらの活動に生かしていただける講演だったと思う。最後に加来氏の講演で述べた言葉を記述し研修報告とする。

歴史学の基本的考えは具体的な未来は常に過去にある。すべての答えは過去にある。歴史学を学ぶ、過去がどうだったのか、なぜそうなるのか、もしそうでなければどうなっていたか、立ち止まって物事を考えることで、歴史を具体的に仕事や日常生活に活用できる人になれる。

右手の法則・左手の原理
左になくても真実は右にある、隠れている真実を見逃すな。
前に答えがなくても慌てるな、必ず答えは後ろにある。

「未来は過去と現在をつなぐ線上にある」
未来を読み、立ち止まり本当に豊かになるために何をすべきか、どう動くべきか考えるときだと

常に数字を重視する。
数字は嘘を言わない。
歴史に奇跡や偶然はありえない、また人が突然飛躍したり変身したりすることはありえない。物事はすべて、成るべくして成り、起こるべくして起こる。

「住民に読まれ議会活動が伝わる」

講師 議会広報サポーター 芳野 政明 氏

広報編集副委員長 宮之原 順子

8月23日、県町村議会議長会主催による市町村議会広報研修会が鹿児島市のウエルビューかごしまで開催され、広報編集委員が参加しました。

よくわかる編集整理について詳しく説明、最後に9市町村の議会広報クリニックがありました。

研修では「住民に読まれ議会活動が伝わる」と題して議会広報サポーターの芳野政明氏が議会広報の基準と編集について講演。

どんなにすばらしい議会活動も、それを住民が知らなければ評価は無きに等しい、議事や議会諸活動が地域住民に伝えられ、その情報が共有されるまでが議会の本務と位置づけられるとあり、議会だよりは住民にとって自分たちが選んだ「議員」が何をどのように質問し質疑・討論し、結果はどうなったか知ることができると。議員にとつては、議会活動を伝えることで、住民からの反応や意見要望を把握、個々の

パート1
議会広報とはへその役割

住民への説明責任を果たし、信頼関係を築く発信を

パート2
伝える広報から伝わる広報へ

住民に議会の諸活動が



大きなと思います。
私たち広報編集委員も皆さんにわかりやすい編集に努力していきますので、町民の皆さんの1人でも多くの方が議会だよりを目を通していただき、自分たちの住んでいる自治体のことを知り、関心をもってほしいと思います。

次回の定例会は 12 月です

皆さんで議会を傍聴してみませんか。
手続きは簡単で、傍聴席入口の受付名簿に住所・氏名を記入していただくだけです。
詳しくは議会事務局までお問い合わせください。
☎ 8 2 - 1 1 1 1 (内線 331 番)

議会より計報

鶴野将光議員が
8月15日に逝去さ
れました。

故人のこれまで
のご功績をたたえ
るとともに、ご冥
福をお祈りいたし
ます。

徳之島地区介護保険組
合議員欠員により、平成
29年9月7日選挙に伴い
次の方が議員に選任され
ました。

○徳之島地区介護保険
組合議会議員

勇元 勝雄

現地調査の様子



新設された母間浄水場の貯水タンク



亀津中学校屋外照明機器

議会活動
スナツプ



平成 28 年度決算審査の様子

編集後記

日本を取り巻く世界的
情勢、隣の国々の動向も
非常に気になる。

安全保障に関しても海
に囲まれた徳之島の状況
も大きく変化していくだ
ろう。これからの世の中
の情勢を見極め、分析し
政府の考えを注視してい
きたい。

この状況は、幕末時代
と似たような感じがして
くる。明治維新という新
たな時代を変えた人物の
中に西郷隆盛がいた。西
郷は沖永良部島に行く前
に、井之川の奥山家に17
日間滞在し井之川港から
出港していった。NHK
大河ドラマ「西郷どん」
が、どの様に描かれてい
くのか楽しみである。

また、「西郷どん」と
時同じくして「奄美大島
徳之島、沖縄島北部およ
び西表島」の世界自然遺
産登録に向け、我が町も
新たな観光地の発掘、地
域で一体となった美化活
動、希少動植物の保護、

郷土の歴史再発見と町歩
き散策コースの設定等い
ろんな視点から模索し方
向性を協議している。今
後が楽しみである。世界
自然遺産登録の可否が、
決定するのは、二〇一八
年夏の予定である。

世界自然遺産登録に向
けての是非を決めるの
は、一人ひとりの行動で
あり住民一丸となった徳
之島全島を美しく輝かし
く清潔感あふれる島作り
が、必要であり意識改革
が必要である。皆さん、
頑張って世界自然遺産登
録に向けて着実に進んで
いきましょう。

最後に、世の中を変え
るのも伸ばすのも一人ひ
とりの心の中にある。

文責 是枝 孝太郎

